

入善町議会だより

6月定例議会

№. 62号

発行所 入善町議会

編集 入善町議会だより編集委員会

富山県下新川郡入善町入膳3,255

☎ 0765 (72) 1100

石川議長を選出した後、副議長選挙の投票
—6月28日 議場で—



石川
議長
池原
副議長
を選出

常任委員会の所属も変更

3億円を積み立て ……62年度一般会計

町債も繰上げ償還
セミナーハウスで生活体験を

入善小の主体工事は 8億3100万円で落札

国保税を引き上げ ……

……1世帯平均4.1%の増額

国保会計へ3120万円を繰り出し

医療費の抑制に ヘルスパイオニア事業

第19回

6月

定例会

9日間

新正副議長誕生

6月定例議会は20日から28日までの会期で開催され、提出された議案5件、請願3件、陳情1件、承認4件、諮問1件などを審議し、いずれも原案どおり可決、承認されました。

また、最終日には私約交代に伴う議長・副議長の選挙と常任委員会の所属変更が行われ、議長には石川昭男議員、副議長に池原金与志議員を選出しました。

初心に帰り

全力を投入



議長 石川 昭男

六月定例議会において、不肖私
が町議会議長に就任、その重責を
担うことになりました。

もとより浅学非才の私、身にあ
まる光栄でございます。この機会
に過去十五年間の議員活動をいま
一度見つめ直し、初心に帰り、課

二十一世紀に向けて ビジョンづくりを



副議長 池原金与志

このたび、六月議会におきまし

就任 あいさつ

せられた職責に全力を投入する決
意であります。

入善町は「活力と明るくおいに満
ちた文化のまち」を目指し着々と
前進しておりますが、活気あるま
ちづくりのための都市機能の整備、
企業誘致あるいは農漁業の将来、
教育やスポーツ環境の整備など多
くの問題を残しております。

執行部と議会は町づくりの両輪
と言われておりますが、議会は常
に町民の代弁者としての立場を守
り、公正かつ適正であるよう善意
と誠意をもって執行部との関係を
調整していきたいと思っております。議

会運営につきましては不偏不党、
常に会議を正しく明るく方向に推
進し、議会の威信と尊厳を保持し
ていく覚悟でございます。

風土に根ざした まちづくりに努力

事業推進に当たり地域的に片寄
ることなく、農漁業、商工業とも
風土に根ざし競合できる町となる
よう意を尽くしたいと思っております。

この重責は町民各位の深いご理
解と絶大なご協力によらねばな
りませんので、今後二層のご支援
とご鞭撻を賜りますようお願い申
し上げ、微力ではありますが、職
務完遂に邁進することをお誓い申
し上げ、議長就任のごあいさつと
いたします。

を考えながら町政発展に傾注いた
さなければなりません。

与えられた職務に全力

私は議長の補佐役として、はた
して皆様方のご期待に答え得られ
るか懸念するものであります。自
分に与えられた職務を全うすべ
き努力を重ねる所存でございます。

今後とも先輩、同僚議員の方々の
深いご理解と町当局並びに町民
の皆様方の絶大なご指導とご鞭
撻をお願い申し上げます。

常任委員会委員

(委員長) 〇副委員長)

総務

- 〇 広瀬 義孝 若島 信行
- 〇 広瀬喜代志 石川 昭男
- 九里 郁子 上野 幸一
- 早川 誠一

文教厚生

- 〇 坂川 清治 野坂 俊一
- 〇 五十里隆章 池原金与志
- 松沢 孝衛 本田 幸光
- 竹内 壮太

産業建設

- 〇 白又 正司 大林 政雄
- 〇 本多 幸男 西尾 三郎
- 佐藤 学英 岡島松太郎

特別委員会委員

- 黒部川水利対策
- 〇 早川 誠一 若島 信行
- 〇 野坂 俊一 大林 政雄
- 本多 幸男 池原金与志
- 白又 正司 西尾 三郎

新幹線対策

- 〇 松沢 孝衛 広瀬 義孝
- 〇 早川 誠一 若島 信行
- 本多 幸男 石川 昭男
- 白又 正司 本田 幸光

都市計画

- 〇 五十里隆章 竹内 壮太
- 〇 広瀬喜代志 佐藤 学英
- 板川 清治 池原金与志
- 松沢 孝衛 本田 幸光

温泉地域開発

- 〇 広瀬喜代志 野坂 俊一
- 〇 佐藤 学英 大林 政雄
- 板川 清治 岡島松太郎
- 九里 郁子 上野 幸一

6人
登壇

一

般

質

町

政

問

6月22日

7つの大型水田

夢と希望のある農業に

白又正司 議員(自民)

問
生産者支備の三年連続引下げに続き、米価も二年連続引下げられようとしており、米の生産調整もますます強まってきた。一方では人件費、肥料、農薬、農機具、機材等の生産資材は非常に大きな内外価格差のもとに放置されている。
農産物の国際市場価格に追いつけるように、生産過程のコストダウンを図りながら足腰の強い農業にと叫ばれているが、このような厳しい矛盾があつてよいものだろうか。

さるのだろうかなど、実際にこの目で見てみることも大切だと思う。入善町にすぐ当てはまるものではないと思うが、地域の特性を生かした農業経営のあり方について発想の転換を生み出す起爆剤になるものと思う。農業の将来に明るい希望を持つためにも、町が率先してこの視察に取組んでいただきたい。

秋までには視察

町長

米価や農産物自由化に対する問題を始めとして、硫安、尿素などの肥料や、トラクターなどの農業機械の販売価格の問題など、農政に対する高い意見に深く敬意を表したい。

農業経営にも

発想の転換を

こういう状態の中でも知恵を出し、発想の転換を図りながら夢と希望の持てる農業経営に努力されている方がある。
千葉県佐倉市には一枚で七畝という世界一の水田が作られ、世界各国から注目を集めている。一体どういう仕組みで、どういう形で行っているのか、水が均等にわたるのだろうか、短時間に排水で

を視察することは大きな意義があると思う。
農業技術者協議会を中心に農協



▲ コンバインにも内外価格差が……

やその他の農業団体にも呼びかけて、今年の秋ごろまでには視察を実現するように努力したい。

二億円を単独事業に

要望が多い道路の整備

早川 誠一 議員(自民)

かったのか。

各地区で開かれた町政懇談会や議会に寄せられた請願、陳情でも道路改良や舗装などの要望が数多く出されている。

三億円を財政調整基金に積立てられているが、町民のために使うことが必要であり、三分の二の二億円を町単独事業費に計上して、これらの事業に振り向けられるよ

問
六十二年度の一般会計補正予算は町税や地方交付税、財産収入の伸びによって三億二千二百二十八万円の増額となっている。年度末の三月議会での補正が国県補助金の減額によって三千六百万円の減となっていたのに、その後このような大きな補正はどう理解すればいいのか。三月補正はまやかしてな



▲ 入居希望者の多い町営住宅

う要望する。
また、今後の町税の収入について、どのような見通しを立てているか。

0月補正に努力

町長

内需拡大型の経済の発展によって地方交付税や法人町民税などが大きく伸びたため、財政調整基金に三億円積み立てを行った。
この財源は中期、長期的な展望に立って、町民の要望に比えるために運用することが大切だと思っており、議会のアドバイスや論議をお願いしたい。

町政懇談会で出された要望などについては、緊急度、必要度などを十分精査しながら年次計画を立て、当初予算にも組み込んでいるが、自民党議員会からの要請もあったので、九月補正の段階で予算

化に努力したい。
企画財政課長

三月議会で補正は一月時点で収入見直しを行っており、六月議会でそれ以後の収入を計上している。

国の内需拡大策によって予想を大きく上回る税収の伸びがあり、地方交付税で一億五千万円、町税でも一億二千万円の増収となった。

町税収入は25億円

税務課長

過去五年間の税収の伸び率は平均すると八・五割となっている。

六十二年度の決算見込みは、個人町民税で八・六割、法人町民税十五・四割、町税全体では七・八割の伸びで総額二十五億円程度と試算している。

六十三年度は、昨年の税制改正によって所得税と住民税が減税に

なっているため、税収の伸びはあまり期待できないが、当初予算に計上した二十四億八千五百万円は確保できると思っている。

遊休土地の活用を

町長

町有財産のうち土地、建物はどれくらいあるか。現在利用されていない遊休土地や建物にどんなものがあるか。また、今後の活用についてどのような計画があるか。

財産は有効に活用

町長

町有財産のうち土地は二百二十八万平方メートル、建物は十万三千平方メートル所有している。

本来の目的を終えた旧上原小学校の一部は連合青年団の事務所、旧小摺戸保育所は青年学級や婦人学級のための施設、旧役場や中央公民館、警察署の跡地は駐車場として活用しており、遊休地という表現にはあたらないと思う。

これらは都市計画道路中央通り線の代替地の一部あてなければならぬと考えている。今後とも管理には十分留意したい。

満ばいの町営住宅

町長

町営住宅に入居申込みをしてもなかなかはいれない状態にある。所得水準を上回っていたり、二十

年以上の長期に亘って入居されている方が相当いると聞いているが、住宅を買いえない人、造れない人のためにある町営住宅の意味がなくなるのではないか。

所得ふえれば割増料金

町長

町営住宅には、建設省の指示によって所得や人数などの入居要件が定められている。
入居した後で所得がふえた場合

高齢者に生きがいを

シルバー人材センターの設置

竹内 壮太 議員(清新)

町長

町では六十歳以上の人が二十割を超えたと聞いている。ゲートボールを中心としたスポーツ活動や文化活動への高齢者の参加が非常に増大しているが、働く生きがいも大事なことである。

高齢者の生きがい対策として、シルバー人材センターが県内七十町に設置されている。町でもこれを設置して公園の除草や防除に汗を流してもらつことも生きがい対策の一環になると思うかどうか。

健康のためが40%

その結果、事業所では、仕事がある十二割、検討すればあるかもしれない二十四割、仕事がない四十五割となっており、シルバー人材センターがスムーズにその効果

は一定の事で割増料金をもらうことになっており、もっとオーバーした場合は立ち退いてもらうよう申し入れている。また、二十年以上の入居者も相当数おられ、町営住宅建設の目的とはずれていると思うが、次の入居先の問題があつて、なかなか解決できないのが現状である。
民間による住宅建設や、町でも宅地造成をして受け皿づくりをする必要があるかと思う。

町長

高齢化社会に対応するために大切なことは、生きがい、生活の安定、医療・健康管理の問題だと言われており、その対応策としてシルバー人材センターが設置されるようになってきた。

町では昨年シルバー人材センターに対するアンケートを町内の百事業所と六百五十人の高齢者を対象に実施した。



▲ いい汗かいて、体力づくりと仲間づくり—運動公園—

を發揮する条件は、まだ醸成されていらないようである。

一方高齢者側は、参加したい三十割、参加しないが五十八割。参加希望目的では、健康のため四十割、金銭的なもの十割、自分の能力を發揮したいなど十二・八割となっている。

アンケートの調査結果等も踏まえながら、先進地のシルバー人材センターの運営、実態なども十分調査し、前向きに取り組みたい。

マンネリ化を心配

問

大蔵省は六十四年度以降も補助金カットを継続する方針を打ち出している。町は限られた財源の中で想定される大型事業を推進する

ための財源をどのように生み出すかが問題である。

現在、町補助金はどのようになっているか。前年どおりにしておけばというマンネリ化がないか。

一度支出すると廃止が困難

町長

現在、負担金と補助金を合わせて七億円余りになる。決定にあたっては不要不急なもの、所期の目的を達成したものがないかなどを検討しているが、一度支出すると廃止はなかなか困難である。

国や県でも補助金の見直しが強く叫ばれており、町でも総合体育館をはじめ多くの大型プロジェクトが控えているので、補助金や負

担金が年々増大することに何らかの形で歯止めをかけなければならぬと思っている。

65年度には倍増

土地改良事業の補助金

問

町長は十一土地改良区が一本化の方向に進むことが好ましいと発言されたことがあるが、その真意などを聞かせてほしい。

土地改良事業に対する単年度補助、債務負担行為を合わせると五十九年度七千六百九十五千円、六十三年度九千五百一十一千円となっており、六十五年年度には一億四千五百九十二万六千円と約倍増になると思われる。このままではますます増加の一途をたどることになるが、どのように対応されるのか。

合併が望ましい

町長

本町の規模において十一の土地改良区があり、お互いにしのぎを削って事業の獲得に努力しておられることに問題があると思う。何らかの形で合併され、経費の削減等に努力されることが望ましいのではないかと考えている。

土地改良事業に対する補助金は年々額が高まって、町財政を圧迫する要因にならないかと心配しており、補助率を下げるか、補助の総額を規制するかなどを検討して

いる。県下の市町村に比べて本町の補助率は高くないが、事業量が多いため町の持ち出しが多くなっている。

土地改良区が努力しておられる

消費税は公約違反

町財政にも大きな影響

九里 郁子 議員(共産)

消費税という名の大型間接税が導入されようとしている。給与所得者の八割以上が増税となり、中小若細業者は身銭を切り、農家にとっては消費だけでなく生産に要する出費にも税金がかかり、二重の打撃で死活問題である。町にとっても、町が購入する機材や消耗品にも税がかかることになり、町財政にも大きな影響がある。

消費税は衆参同時選挙で自民党が導入しないと表明した選挙公約に違反すると思うがどうか。町長の消費税に対する考えを聞きたい。

直間比率の是正は必要

町長

公正、中立、簡素が税理金の三大要件と言われているが、今までは公正さが欠けているという意見が多かったと思う。

仕事は、農業だけでなく、道路や用排水などの社会資本の充実という面があるので、これらについては町としても財政の許す範囲内で補助金を出すことは当然だと考えている。

今回の改正案では、社会保険診療報酬や宗教法人、みなし法人の課税の問題など、多少なまぬるく不公平感が拭い切れなくて不満に思っている。

消費税は世界五十か国以上で採用され、直接税を減らして間接税で補うというのが世界の流れになつており、わが国でも直間比率の見直しは必要だと思つている。消費税そのものについては、まだ大綱が出たばかりでコメントする時期ではないと思うが、所得や資産、消費という税源が正しく把握されるかどうかについて十分検討しなければならぬと受けとめている。

非核平和都市宣言を

問

広島、長崎に投下された原爆の百万発分にあたる核爆弾が世界各

地に配備され、どこかで核戦争が始まれば人間の絶滅は避けられない状況にある。

全国で一千二百五十四自治体、県内でも婦中町、小杉町、高岡市、魚津市が行っている非核平和都市宣言を入善町でも行う意思がないか。

議会の決議を期待

町長

世界で初めて原爆の被害を受けた国民の一人として、非核都市宣言はまことに結構だと考えている。

現在、町でも地区労を中心に非核平和都市宣言を求める請願書の署名運動が行われていると聞いており、議会に提出された時には一日も早く決議をし、宣言されることを期待している。

入札・契約は公平に

町長

契約は厳正、公正と同時に、業者が公平に仕事が行くことを考える必要がある。

現状では一部の業者に片寄っているように見受けられるので、いくつも落札している業者は一定期間、指名からははずすという考えはないか。

小さな業者にも配慮

町長

入札は公正、厳正に行うべきで

あり、とくに指名に公正さが一番必要である。また、町の関係業者が公平に仕事があたるような配慮も考えなければならぬと思っている。

町は入札に際してランク制をとっているが、分割できるような仕事については分割をし、小さな業者でも仕事が確保できるように配慮したい。

聴覚障害者に

テレファックスを

町長

聴覚障害者に対して、電話と同じように、全国どこへも通信できるファクシミリを設置するための補助制度について検討されていると思うが、具体的な計画を開きたい。

テレビで文字を受信するキャパテンシステムについてはどのようなか。

聴覚障害者の方には町に二十三名おられるので、この社会参加を促進するために手話教室などを開いている。

県内にはテレファックスを設置している所もあるが、多額の費用が必要で、費用負担や機種の選定

先進地の状況を調査して検討する

町長

該当者がそれを要望するかどうかなどの問題がある。

先進地の状況を十分に調査し、キャパテンシステムを含めて検討していきたい。

米の自由化反対を

町長

牛肉、オレンジ十二品目の輸入自由化は絶対に行わないこと。また、米価は生産費所得保証方式で算定し、算定方式の見直しによる引下げを行わないことを国に強く要望していただきたい。

農産物はP R不足 販売方法に工夫を

町長

牛肉、オレンジなど農産物輸入自由化は日本農業にとって大変な問題であり関係農家への影響も大きい。この対策として北海道の池田町では東京で産地直売の方法がとられている。

入善町の農産物として、米、ジャーンボ西瓜、イチゴ、チェーリッアなどがある。西瓜は国道八号線に販売所が設けられるが、他の産物はそのようなことがなく、どこ

直ちに文書で要請

町長

米は国民の主食であり、将来に亘って自国で十分確保できる組織や体制が必要と思う。

議会でも何回か自由化反対の決議をされ、意見書も出しておられるが、町でも文書で関係上局に要請したい。

米価は、優良品質米の生産基地である本町にとっても非常に大きな問題である。生産費が保証され、再生産できるような米価の算出をされるよう、議会終了後、直ちに文書で申し入れたい。

8号線に地場産物館

町長

本町特産品の宣伝には決して傍観はしていない。例えば米についてはJ R入善駅のプラットホームにコシヒカリ優良品質米産地のP R立看板を設置し、また、北陸自

国体の種目誘致を

町長

いま富山県では日本一の健康スポーツ県を掲げ、二千年国体に向けて着々と準備が進んでいる。二千年国体では町はどのような競技種目を誘致するのか。また、いっごう誘致種目を県に要請するのか。

決定前に強力な運動

町長

国体競技種目の開催地は、県では六十六年か六十七年度に決定するということである。

町では今年スポーツ振興課も新設したところであり、スポーツ振興審議会などの組織を通じ、入善町に一番良い種目は何かを検討し

動車道の入善パーキングエリアの中に観光案内板を立て、町の特産品など観光も含め宣伝を行うよう仕事を進めている。あるいはC I事業によるイメージアップ作戦についても予算化をしている。またプロ野球ナイターにもジャンボ西瓜のプレゼントなどを行っておりそのことによって町のイメージアップや特産品の宣伝に努力している。

入善米コシヒカリは食管法の制約があり、農協や商工会とも十分連絡をとりながら、特産物の展示販売を行う地場産物館のような施設を八号線に面して設置するなど積極的に努力したい。



▲今年の成育は今ひとつ……入善ジャンボ西瓜

ながら、県の種目決定前に爆発的運動を展開したい。

総合体育館を早急に

問 本町には総合体育館構想があるが、体育館用地の買収はどのように進んでいるか。
青島地内で分譲住宅地として購入した土地がその後体育館用地の代替地にしたとの発言もあったがその後どのようになったか。
住民の要望に応じて建設時期を繰り上げる意思はないか。

小学校終了後に着手

町長 用地買収は今年と来年度にわたり一万二千平方メートル確保する計画で予算化されている。土地所有者と話を進めているが、できれば来年度計画を繰り上げて今年中に買収することも検討している。
青島の用地は当初ミニ団地構想もあつたが用地が足りず、周辺用地の取得も難しいので、体育館土地所有者の要請があれば代替地とすることも検討しており、もう少しばらばら様子を見て対応したい。

ニーズにこたえる努力を

問 建設時期の繰り上げは財源の手当でも必要で、六十四年度に調査費を計上し、入善小学校建設が終了した時点で総合体育館の建設に着手するのが精いっぱいと思う。試算段階だが十五億ないし十七億円が必要であり、ご理解いただきたい。

強力な誘致運動を

大手の食品会社進出

問

先月の全員協の席上で大手の食品会社が町に進出するという話を聞いた。これが実現すれば固定資産税の税収もアップし、非常に豊かになるものと喜んでい

る。当分は内密にといいことだったが、もうすでに地元ではうわさが広まっている。もし来るとすれば用地の問題をはじめ地下水や汚水の問題など、いろいろあると思うので、現在の状況を聞かせてほしい。
候補地が上がっている石川県、福井県にも用地や地下水の豊富な所がたくさんあるので、これらに負けないようにチームを作って積

毎年各地で町政懇談会が開催されているが、住民の要望の多くは道路改良や舗装、生活排水路問題であることを十分承知と思う。こうした町民ニーズにこたえ、九月議会で補正計上の考えがないか。
町長 各地区における町民の町政に対する要望をどのように実現、反映していくか十分念を盡し、九月議会で補正を目指し、財源の許す限り対応してまいりたい。

野坂俊一議員(自民)

極的な誘致運動を展開してもらいたい。

マル秘戦略も大切

町長 活力ある町づくりのための一番強力な要素となるのは企業の誘致だと考えている。企業の誘致は経済、財政、雇用面などの波及効果が非常に大きく、町の活性化に与える影響の度合いも大きい。したがって公害のない付加価値の高い企業の誘致には今までも努力をしている。

農業や漁業にも国際感覚が必要

問 この問題については、全員協議会などで今まで知り得た情報のすべてを申し上げており、新たに追加して申し上げるというようなのは残念ながら持ち合わせていない。
企業誘致の競争相手となる石川県や、県内にもいくつかの候補地があるため、現時点ではマル秘隠密行動も大切だと思っている。

問

日本電気の小柳社長の橋わたしによって、米田フォーレスト・グループ市との友好都市提携をめぐりして町長、議長が訪米された。
現在は国際化の時代と言われており、農家や漁家にとっても国際感覚が非常に大切になってきているが、友好都市締結について、今後の見通しをどのように立てているか。

来年4月に調印

町長 姉妹都市の締結は、国際平和への貢献や国際感覚豊かな人材を育成するという面での役割が大きいと思う。
フォーレスト・グループ市とは来年四月に友好都市の締結をすることを目標にして、双方の議会や町民のみならずのコンセンサスを

深めようということで見解が一致している。
現段階では行政が先行している
ので、各団体に働きかけて組織を
作り、町民のみなさんの理解を深
めながら進めていきたい。

**町出身者が多い
北海道旭川地方**

北海道の初山別村へ上田地区の
方々が獅子舞交流に行つてこられ
たが、向こうの先祖は入善町の出
身者で、原野を開拓し、現在の北
海道の特産文化を作られたと聞
いている。

北海道には入善町と縁の深い地
域がいろいろあるが、これらとの
友好交流をどのように進めていか
れるのか。

**交流を積み重ねて
お互いの理解を**

町長
北海道の移民は入善町と非常に
深い関係がある。初山別村、妹背
牛町、雨竜町、鷹栖町など、旭川
の近辺に移民をされた人数が非常
に多い。

上田地区が行かれたときは姉妹
町の話は出なかつたと聞いている
が、いろんな交流を積み重ねなが
ら相互理解を深めた上で姉妹町の
問題に対応していきたい。

常任委員会・審査報告



国庫補助金が増額

町税の伸びも期待

総務委員会に付託された議案二
件について審査の結果、賛成多数
で可決すべきものと決定した。

一般会計の補正額は二億四百五
十三万四千円で、この財源は国庫
補助事業の内示による増額分九千
二百五十一万円のほか、前年度か
らの繰越金を充当するものである。

このうち農村総合整備事業の県
補助金二千四百五十万円は、当初
町債として計上されており、今回
県がこれを肩代わりして補助金を
交付されることになった。また、
民生費の保険基金安定費負担金は
国民健康保険法の改正によって、
低所得者軽減分を国、県、町で負
担することに制度改正されたため
のものである。

これに関連して金額国庫補助に
よるヘルスパイオニア事業が実施
されることになり、自分の健康に
関心を持ってもらいながら、少し

でも医療費を抑える効果が出てく
るよう期待したい。

道路改良に力を

六十二年度決算による剰余金は
三億六千五百四十一万円で、今回
の繰越金補正後でも、なお一億五
千六百万円余りが留保されている。

これらは今後予想される国庫補
助事業の追加割り当てに対応する
財源として必要なものであるが、
現在の景気回復状況を見ると今後
の町税収入や地方交付税の伸びが
十分に期待されるので、町単独事
業の道路や水路の改良に力を入れ
ようお願ひしたい。

四・一割の増額に

一世帯平均の保険税

国民健康保険条例の一部改正
によって、一世帯当たりの保険税
は四・一割の増額、一人当たりの
税額は五・七割の伸びとなる。

国民医療費がとんとん増大し、
国保会計が全国的にも非常に厳し
い状況になっていることを考えれ
ば、保険税の増額もやむを得ない
ことかと思ふ。

間接税は継続審査

三月議会から継続審査となつて

いた新大型間接税導入に反対する
請願については、国民だけでなく
自治体にも負担増となるので、反
対の意見書を国に提出するよう
との発言があった。

しかし、現在はまだ自民党税調
の改革案が発表された段階で、国
会でも審議されておらず、具体
的な中身もわからない現時点で結
論を出すのは時期尚早と考え、賛
成多数で継続審査とした。



三千二百二十万円を繰出し

一般会計から国保会計へ

付託された議案三件、請願一件
はいずれも全員一致で可決、採択
すべきものと決定した。

一般会計から国保会計への繰出
金三千二百二十万円のうち、一千八百
七十万円は国民健康保険法の改正
に伴う保険基金安定費負担金として
町が負担するものであるが、地方
交付税で補てんされるということ
で、町としては特に問題はない。

残りの一千二百五十万円は福祉
医療相当分として純然たる繰出金
であるが、国保会計が苦しい時な
ので、やむを得ないことかと思ふ。

議会

日誌



- 10日 富山県植樹祭
- 11日 議員全員協議会
- 16日 入善駅利用促進協議会幹事会
- 17日 スポーツ振興審議会
- 18日 機械工業センター植樹祭
- 19日 サケ・マス船団出港 (魚津市)
- 18日 下新川郡議会議長会研修視察 (奈良県)
- 19日 視察 (京都府)
- 20日 県町村議会議長会理事會 (富山市)
- 23日 福寿会連合会総会
- 大分県佐賀県厚生委員会視察米町
- 24日 町民会館特別委員会行政視察 (小松市)
- 25日 黒東防犯協会総会
- 26日 水田農業確立対策推進協議
- 27日

生活体験の場に活用

セミナーハウスの設置

神子沢の小沢吉孝さんのご厚意によってセミナーハウスが設置されることになったが、賃貸契約や使用規則を整備され、青少年団体やグループによる生活体験学習の場として広く活用されるよう希望する。

じょうべのま道跡も五十九年から着手され、総額一億六千三百万円をかけて完成も間近となった。

本年度は二千万円で休憩所や給水設備が作られ、来年度の植栽を残すのみとなったが、国指定道跡として町民のみならずに親しまれる立派なものにしていただきたい。

配慮がほしい

老朽校舎の改善

入善小学校の入札も終え、着工の運びとなったことは喜ばしいことであるが、まだまだ老朽校舎が残されているので、教育上の格差が生じないように老朽校舎の維持修繕、施設設備の充実に配慮をお願いしたい。

保健婦活動を強化して

健康を守る意識の改革

国民健康保険特別会計は六百七十二万円の減額補正となっているが、医療費の増減や法律改正に伴う国庫支出金の減額、一般会計か

らの繰入金が増など、制度上の問題でやむを得ないものである。ともかく、当初予定していた保険税のアップを少なくすることができたことは喜ばしい。

今年度からヘルスバイオニア事業が実施されるが、この事業を中心に保健婦活動を強化され、早期発見、早期治療、自分の健康は自分で守る意識の高揚を図りながら少しでも負担が少なくなるよう一段の努力をお願いしたい。

コンセンサスが肝要

飲料水の塩害対策

芦崎地区生活飲料水の塩害対策に関する請願は、日常生活に欠かせない飲料水の問題であり、早急な対策が必要である。現地の近くに利用されていないポンプが設置されているので、これを利用していいのか、また利用することで他に影響がないかなどを十分に調査され、地元とのコンセンサスに努めていただきたい。

補助金の交付については、町の規則に照らし、他地区の状況も勘案しながら適切な対応をとられるよう要望する。

全案件に賛成

完成間近い河口公園

産業建設委員会に付託された議案一件、請願二件、陳情一件については、いずれも全員一致で可決採択すべきものと決定した。

一般会計の補正額のうち当委員会付託部分は一億二千五百八十六万八千円で、そのほとんどが国庫補助金の増額内示によるものである。君島山寺縁をはじめとする各道路や水路の整備が当初計画より大幅に進み、特に黒部川河口公園や水公苑は本年度でほとんど工事が完了して供用開始も近いというところで、公園都市宣言をしている当町にとっても、また新しい名所、いこいの場がふえることになり、大変喜ばしいことである。

公園管理に気づき

現在二十七か所の公園があるが、地元の管理人やボランティアの協力などによって管理の行き届いた所、あまりそうでない所、いろいろあるようで、特に舟見山自然公園は手入れが悪いと聞いている。町にとって数少ない観光資源の一つであるので、各課連絡を密にしなから、将来を展望した周辺整備と管理体制を考えていただきたい。

黒部川河口公園は高山県植樹祭が開催され、県内各地の方々が植樹をされた記念の場所であり、水管理には十分な留意をお願いしたい。

また、供用開始によってグラウンドやゲートボール場の利用も多くなると思うので、町民全体から喜んでもらえるよう配慮をお願いしたい。

水公苑に大きな期待

面積の少ないのが残念

全国に誇り得る黒部川扇状地の名水をシンボル化する水公苑には大きな期待感を持っているが、面積の少ないのが非常に残念である。また、自然の水をイメージアップするには自然の環境が似合うと思うので、タイルやコンクリートを使うよりも、できるだけ自然の石を利用されるよう要望する。

きれいで、冷たくて、おいしい黒部の名水のイメージをこわさないように十分な配慮をお願いしたい。

説得力ある計画を

町道改良の優先順位

請願二件については、できるだけ早急に対応されるよう要望する。なお、町道の舗装、改良などは請願が出たからやるということでなく、未舗装、未改良の所を調査し、現在の利用度、将来の見通しなどを十分に検討しながら優先順位を決め、地元民に対しても説得力のある改良計画を樹立されるよう要望する。

消雪装置の陳情は、二割の地元負担も高額になるので、地元とのコンセンサスを十分になされた上で対応されたい。

31日 会
中学校体育大会

6月

1日 フォレストグループ市訪問
7日 (アメリカ)

3日 県町村議会議長会総会

4日 新川広域圏議会運営委員会

6日 産業建設委員会町有林視察

7日 北陸自動車道建設促進協議会総会 (上越市)

10日 議会運営委員会

13日 奨学生選考委員会

15日 国民健康保険運営協議会

17日 優良納税貯蓄組合表彰式

20日 議員全員協議会

" 第十九回議会定例会(提案理由説明)

21日 議会運営委員会

22日 議会定例会(一般質問・質疑・委員会付託)

23日 県人権擁護委員大会

" 産業建設常任委員会

24日 文教厚生常任委員会

27日 総務常任委員会

28日 議会定例会(各委員長報告、質疑、討論、採決、正副議長選挙、常任委員会の所属変更)

29日 兵庫県竹野町議会視察米町

7月

8日 議員研修会 (富山市)
10日 第20回PTA研修会

行政視察記

四季を通じて快適に

すばらしい東京ドーム

文教厚生委員長 板川清治

議員一行は、七月二十日から二十二日にかけて、東京ドームと寒川町（神奈川県）の福祉事業センターを視察してきました。

東京ドームは五万六千人収容できる観覧席があり、野球、ボクシング、運動会（トラック一周四百回、直線コース百回）、フットボール、コンサートなど多目的に利用できる施設であります。

この施設の屋根は、高さ約五十メートルにビニールの天幕が張られ、大型加圧送風機三十六台で空気を送り込み、風船をふくらませたように天井が丸くふくらんでいる（ドーム）ので当然、場内には柱が一本もありません。

雨水も有効利用

ドーム（丸屋根）に降った雨は地下の貯留槽に貯留し、便所の洗浄水や災害時の消防用水として有効に利用されています。

効に利用されています。雪が積もれば温風を吹き込み融かすことができ、四季を通じて理想的空調（夏は二十八度、冬は十八度C）がなされています。

天井の天幕を空気で支えるなんてグッド・アイデアであり、大胆で画期的発想ですが、はたしてこの施設は建築物でしょうか。本町では、今年度、全天候型ゲートボール場が建設されます。ドームはどうかと言う話があったようですが、雪国での耐久性や後の維持管理を考えた場合に問題があるように感じます。

働くことに生きがい

寒川町の福祉事業センター

寒川町の福祉事業センターは、昨年約一億三千万円を投じ、心身障害者や高齢者のための作業所が併設して建設され、障害をもつ人々が能力に応じた作業を通して仲間づくりの場とし、楽しく日々を過ごせるように、あるいは、自立

心を養う場として利用されています。

高齢者には、長年の経験と能力を発揮していただき、働くことによって「生きがい」を、町や民間の事業所、家庭からの補助的、短期的な仕事を各人の希望や能力に応じて作業する拠点として活用されています。更に、ボランティアの方々が生

動するのに必要なスペースも、この施設に確保されているところが特色であります。

県内17市町で設置

富山県（三十五市町村）においては、高齢者を対象にしたシルバー人材センター福祉事業が昭和五十五年（富山市や大山町）から今日まで十七市町で設立されているのが現状であります。



▲寒川町役場で福祉事業センター運営状況の説明を受ける

本町でのアンケートの結果、健康のため、社会のため役立ちたい、自分の能力を発揮したいなどの理由で、シルバー人材センターができれば参加したいという高齢者が五百七十四人中、百九十七人（約三十四％）おられます。ぜひ設立に努力されるよう期待して報告と致します。



12日	郵便局長杯ゲートボール大会
14日	役場職員OB会総会
15日	主要地方道黒部宇奈月線竣工式
16日	町民ふれあい号
17日	（群馬県）
18日	下新川郡三町議長会総会（朝日町）
19日	入善小学校校起工式
20日	地域交流ホーム運営協議会 議会議員行政視察（東京都）
21日	（神奈川県）
22日	新川広域圏議会（魚津市）
23日	新川広域圏議会行政視察（新潟県）
26日	富山県消防操法大会（富山県）
27日	（富山県）
28日	北陸自動車道等富山県建設促進協議会（富山県）
30日	新川地区広域農道整備事業促進協議会総会
30日	小中学校水泳記録会
31日	飯野国道筋公民館竣工式
31日	吉田忠雄先生顕彰塔除幕竣工式（黒部市）
3日	戦没者追悼法要
4日	黒部川治水同盟総会（宇奈月町）
4日	黒東合口用水組合研修視察（長野県）
5日	議会だより編集委員会
8日	議会だより編集委員会

アメリカ訪問記

FOREST GROVE

幅広い交流計画を

前議会議長 大林政雄



▲女性通訳を交えてクリフォード市長と談笑

このたびは、本町長はじめ私も四名が、国際友好都市締結に向けての調査のため米国・オレゴン州

市議定数六人と少なく、その選挙方法は日本の参議院制度にみられるように、半数ずつ二年毎に交互に選ばれることになっている。ただし、予算議会に限り議員と同数の審査で選ばれた市民が加わる。したがって予算の補正などは容易にできないようである。

市の機構については助役、収入役などは置いておらず、役所の実権はコニーフェツセラ女史(肩書きマネージャー)が掌握している様子がかがえられ、さすが男女同権の国柄と感服した次第である。また市長に事故あるときは、議会

議員定数6人

フォーレストグロブ市を訪問した。その成果や今後の交流計画は広報入善(七月号)でお知らせのとおりであるが、議事人として向こうの議会制度について気付いたことについてふれてみたい。

議長がその代行をし、議決機関と執行機関の関係がごつちやになつていようで、日本の議会制度に比べて奇異な感じがした。短時間の滞在であり詳細な事はよくわからなかったが、今後議員同志の交流も考えられ、お互いの議会制度についても理解し合う機会もあると思う。

いまなぜ

フォーレストグロブ

今日、国際化の進展は目ざましく、幅広い交流が求められている。なかでも友好都市提携の意義は、自治体やその市民との継続的な交流によって、より深い相互理解と国際親善に役立つものと考えられる。

住民からなぜフォーレストグロブかとの質問もあるが、市にある電子機器メーカーと富山日本電気は昭和五十八年以來交流があつて、毎年両社の社員二名を派遣し技術交流を進めている。このことがきっかけでフォーレストグロブ市から本町あてに数回にわたつてラポールがあり、町長もそれに呼応するメッセージを送つたという経緯がある。気候条件や産業形態が入善町と似ていることもあって、友好都市提携への気運が芽ばえたわけである。結婚にも縁とか出合いがあるように、似合いのカップルであつたかどうかは今後の交流計画によるものと思われる。民間を含めた幅



▶中心街も人影はまばら……

広い、そして木永い交流が望まれる。

編集

後記

○昨年の梅雨明けは八月七日で遅い新記録をつくりましたが、それでも七月中の真夏日は十三日間もあり、酷暑が続きました。今年七月三十一日に梅雨明け宣言が出されたものの、七月中の真夏日はわずか二日、日照時間は半年の半分、おまけに低温が続き、農作物や海水浴場、衣類、食品、家電などの夏物商戦に大きな被害があつたと聞きます。

例年なら早稲の穂が色づいている頃ですが、今年は成育がずいぶん遅れているようで、非常に心配されます。

○六月議会で、私約交代による正副議長や委員会の所属変更が行われたのに伴い、議会だより編集委員会のメンバーも一新されました。

今月号から原稿書きや編集、校正に取り組んでいます。結果はいかがだったでしょうか。できるだけ読みやすくを心がけておりますので、ご意見、ご要望があればお聞かせいただきたいと思ひます。

議会だより編集委員

- 石川 昭男 白又 正司
- 池原金与志 本田 幸光
- 広瀬 義孝 佐藤 学英
- 板川 清治 九里 郁子